

地域と学校の連携

下関市立豊田中学校

学校運営協議会について

(1) 委員の構成 14名

(2) 主な協議内容

① 4月

- ・本年度の学校運営方針の承認と学校の現状と課題について
- ・昨年度の活動の本年度の取組について

② 11月

- ・学校の取組状況の説明
- ・学校課題についての熟議

③ 2月

- ・学校関係者評価



特色ある活動

【下関市立大学生との交流】（今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

(1) 学習支援活動

下関市立大学の学生が、9月と2月にそれぞれ2週間、授業補助に入っています。人数は10名程度で、各教室に2名ずつ入ります。学生はこの期間、一ノ俣温泉に宿泊し、学校支援の地域の方に送り迎えをしていただいています。またこの活動は、市立大学生の、インターンシップとなっています。

(2) 市立大学生の学校運営協議会への参加

運営協議会の熟議に学生が参加し、若い斬新なアイデアを提案していただいています。また、この熟議には豊田中学校の生徒代表も参加し、交流を深め、生徒の視野を広げる一役を担っています。



【マイ・ボランティア】（今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

生徒が各自「一人一ボランティア活動」を計画し、豊田社会福祉協議会の協力を得て夏季休業中に地域に「お返し」をする活動です。

来年度に向けて

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「コミュニティ・スクール」としての多くの行事が中止に追い込まれてしまいました。本校には、学校と地域がウィンウィンの関係となる多くの活動がありますが、それらが中止になり大変残念です。来年度は新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、無理なく実施できるよう、検討を重ねていきたいと考えています。

「夢を語り、ふるさと豊田にキラリ輝く子」をめざして

下関市立西市小学校

学校運営協議会について

主な協議内容(年3回実施：5月「書面表決」11月 2月)

- ・ 学校運営方針・学校運営状況等の説明・承認，C・S西市小スタイルの組織づくり・各プロジェクト推進に向けての協議
- ・ ユニット型校内研修，各プロジェクトの取組状況・学校の諸課題に対する取組状況について（学び部会・こころの教育部会・環境、美化安全部会），綱紀保持についての協議
- ・ 学校評価書の検討，来年度の組織・学校運営協議会の在り方についての協議

特色ある活動

◆地域の方の学校支援活動

【丸付けボランティア】（学び部会）

今年はコロナ禍の中、毎週水曜日、各教室で、「やまぐち学習支援プログラム」等を活用した朝の学習を行っている。その際に地域の方が子供たちの丸付けをしながら、「よくできたね」「がんばったね」と声かけをかけられると、目をキラキラと輝かせながら熱心に取り組んでいます。



丸付けボランティア

【梨生産体験】（こころの教育部会）

3年生が校区内にある梨生産農家を訪問し、梨生産の体験を行った。袋かけ体験や収穫体験など2回の訪問で、梨づくりの苦労や梨生産にかける思いなどを学びました。また、梨選果場の見学も行い、ふるさと豊田の大切な宝の一つである梨がどのような過程を経て流通するのかについて理解を深めました。



梨狩り

【どんど焼き集会】（こころの教育部会）

CSコーディネーターの呼びかけのもと、まちづくり協議会との共催で開催されている西市小恒例の「どんど焼き集会」が今年も盛大に開催されました。子供たちは、地域の方々の愛情を肌で感じながら、すくすくと成長しています。



どんど焼き集会

来年度に向けて

コロナ禍の中、地域の協力を得ながら、感染症対策を徹底しながらできる活動を、CSコーディネーターを中心に実施することができました。

来年度に向けて、中学校区で、学校・PTA・地域そして関係機関等が機能的にかかわりながら連携できるように、学校運営協議会組織のプロジェクト化を進めていくとともに、校務分掌とPTA組織がうまく連動できるようにする必要があります。

「地域とともに伸びる学校」をめざして

下関市立豊田下小学校

学校運営協議会について

- (1) 実施回数と主な協議内容
 - ・計2回実施。本校は、10/21「地域と共にある特色ある学校」について確かな学力・豊かな心情・元気な体づくりでの協議をし、出た意見から今年度の方向性を共通理解、2/22は「学校運営について」「今年度の成果と来年度に向けた課題と手立て」を協議する予定です。
- (2) コーディネーターの活動
 - ・学校支援活動の計画・運営、ボランティア募集、連絡・調整を行っています。



主な活動

- (1) 「ふるさとを愛する心」の育成に向けた取組
 - 公民館、こども園、福祉施設等多くの団体や児童の保護者・祖父母に体験型授業の支援や参画をいただき交流を深める中で、感謝の気持ちや思いやりの心の育成を図っています。生活科や社会科、総合的な学習の時間などを通して、豊田下校区にある施設の見学や地域の方との交流を通して、ふるさとのよさを愛する心は諸活動に広がっています。
- (2) 豊田中学校区での共通実践
 - 学校区4校で、豊田っ子スタンダードをもとにして、めざす児童生徒像を共有しています。今年度は、あいさつ・時間厳守を重点取組項目に掲げ取り組みました。また、豊田下地区ネットワークすこやかグループ見守り隊、PTA・教職員・児童会によるあいさつ運動や、家庭学習がんバッタ週間による学習習慣の徹底、朝学での地域の方による赤ペン先生の導入等を行っています。さらに、校長・教頭・教務主任会、小6中学校見学会・合同学習会、新入生保護者説明会、学警連、合同引き渡し訓練等で小中4校の連携を図り、課題は学校運営協議会でも協議し、年度内の実践化を図っています。
- (3) 地域の方の学校支援活動
 - ①学習支援
 - 1回の「しもっこクラブ」では、隣接の豊田下公民館で放課後の学習支援を行っています。館内の児童クラブと共同で講師を招聘した工作や体を使った運動なども仕組み、児童の視野や経験を広げ地域の中で児童を育てる連携が深化・充実しています。また、月曜日の朝の学習支援や第1火曜日の「読み聞かせ」は、地域の方と温もりのある交流をしながら学ぶことができる貴重な時間となっています。
 - ②環境支援・安全支援
 - 豊田下地区まちづくり協議会が核となって発足した地域の見守り組織は、児童が安心・安全に過ごせる基盤となりました。また、月1回のサンサンガーデンの草取りや・植栽等の環境整備は児童と地域や保護者の方々と取り組んでいます。
- (4) 地域住民が学校に集まる仕掛け
 - ①参観日等における見守りボランティア
 - 懇談会や教育講演会で在籍児童対象の託児を行い保護者の参加率を上げています。
 - ②公民館と連携した情報公開
 - 隣接の公民館と企画の情報公開の場を提供し合い地域住民の来校率に繋がっています。

成果と課題

諸活動での支援に、双方向・連鎖・波及といった質的向上が伺えることは取組の成果といえます。また、学校運営協議会での各部会での協議において、豊田下小の児童の理解と今後の課題を話し合うことができました。学校HPや学校だより等で情報を積極的に発信し、協働意識や参画意識を高めるとともに、有用性への理解を得ていきたいと思えます。また、下関市コミュニティ・スクールのテーマとの関連を踏まえて行事をさらに精選し、ねらいを明確にした取組を行っていくことが本校の課題です。